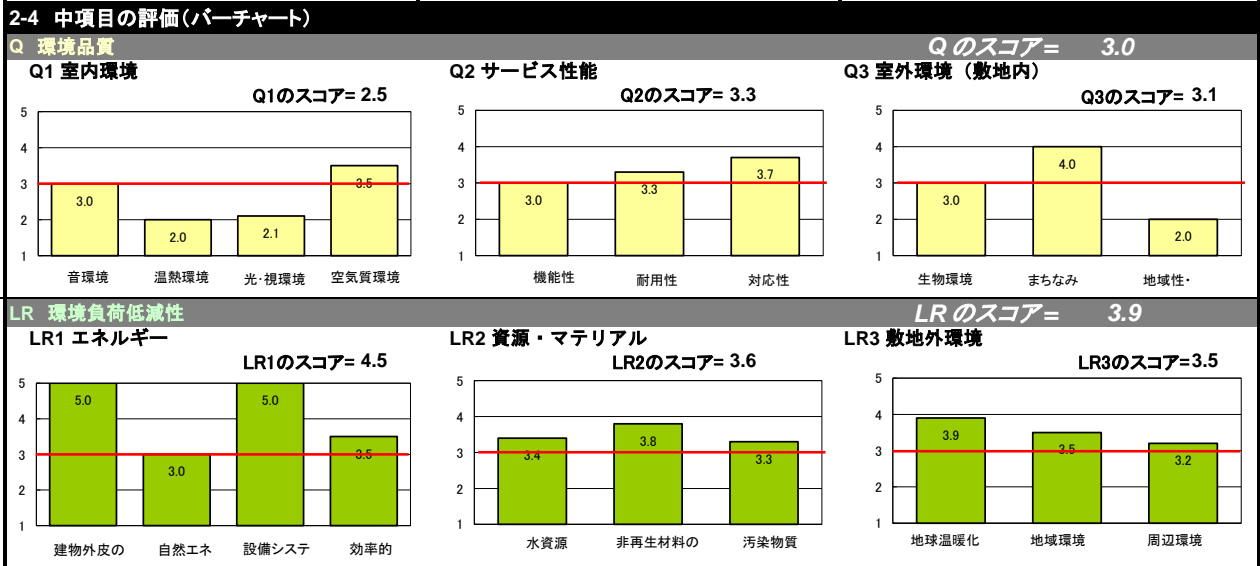
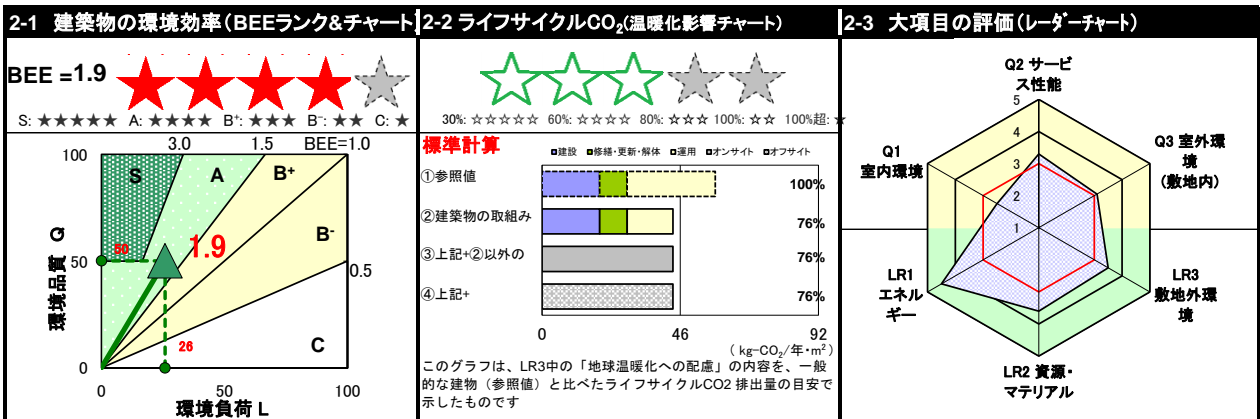


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市三田特定流通業務施設計画 (W棟)	階数	地上2F
建設地	厚木市三田字新田2061番-3の一部 外44筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条の地域	平均居住人員	40 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年10月9日
敷地面積	19,016 m <sup>2</sup>	作成者	戸田建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
建築面積	9,458 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月9日
延床面積	18,898 m <sup>2</sup>	確認者	戸田建設株式会社横浜支店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>・厚木市の市街化調整区域に、事務所と工場の複合用途の流通業務施設を鉄骨造・2階建てで計画した。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>・特に無し</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>・照度を高く確保することで、執務者の視環境に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>・天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。</p> <p>・耐用年数の長い内装仕上げ材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>・道路境界付近は積極的に緑化し、視点場からの良好な景観形成へ配慮した計画としている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>・外皮性能を高め、全面的なLED照明など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>・主要水栓は節水器具とし、節水便器を使用する等水資源の保護に配慮している。</p> <p>・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>・駐輪場、駐車場、トラックバースを確保し、駐車場の出入口を分けることで周辺道路の渋滞緩和対策に配慮している。</p> <p>・光源は総合効率の高いものを採用している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される